

みんなで考えるワークショップ

第5次男女共同参画プランをともにつくる

ワーク1 包括的性教育の副題

ワーク2 成長分野へのジェンダー主流化

ワーク1 包括的性教育の副題

2

- 1 副題案と込めた思いを共有
- 2 子どもや若者に最も伝えたいこと
- 3 大人として学びたいこと

全体共有 副題案と印象に残ったこと

ワーク2 成長分野へのジェンダー主流化

3

- 1 「当たり前」になっている前提を見つける（どうやったら女性参画が進むか？）
- 2 前提を見直した時の可能性を考える（女性参画が進んだら、どんな市場が生まれるか？）
- 3 実現に向けた役割と最初の一步を整理する（どんな後押しがあると良いか？）

専門知識は必要ありません。
自分の経験や身近な人のことから、自由に話してください。



観光・交流

女性が企画・経営・発信に参画しているか
働く人・訪れる人の双方にとって、安心して利用しやすい環境か
女性の生活者視点から、市外・海外にも選ばれる観光・体験をつくれるか



芸術文化・クリエイティブ

- ・ 女性が企画・演出・技術・経営に参画しているか
誰もが尊重され、安心して力を発揮できる制作環境か
- ・ 演劇・温泉・食を、市外・海外から人を呼ぶ体験にできるか



グリーン

女性がSTEM・経営・商品開発に参画できるか
土地・資金・技術へのアクセスを広げられるか
豊岡の自然・食を、市外・海外に届く体験や商品にできるか

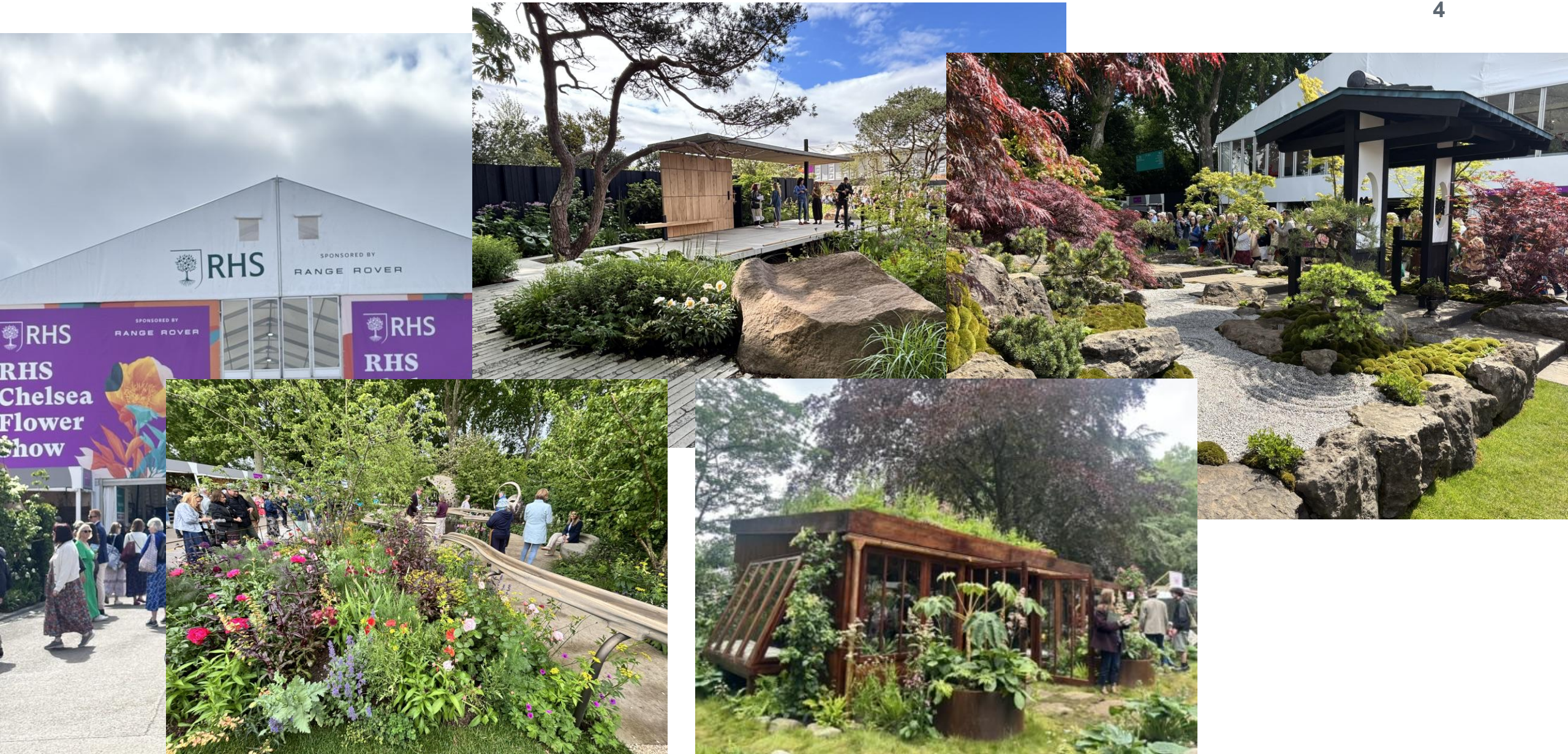


健康・ケア・ウェルビーイング

性別や年代で異なる健康・暮らしのニーズを見落とししていないか
ケアをする人・受ける人への思い込みはないか
豊岡の食・温泉・自然を、市外にも届く体験やサービスにできるか

新しい「園芸」：王立園芸協会チェルシーフラワーショー（英国）

4

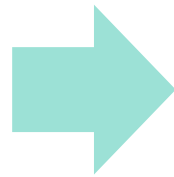


園芸に「ジェンダー視点」と「女性参画」が組み込まれると？

5

1913年（第1回）：美しさと希少性を競う特権階級のステータス

- 男性中心の王立園芸協会が主導
- 女性的とされた庭を「公共化」
- 審査・競争・序列
- 科学的評価による権威形成



現在：女性参画で仕事と市場が広がる

- 女性の仕事：デザイン・研究・都市計画・起業
- 緑と健康を結ぶウェルビーイング都市
- 「メンタルヘルス」「ユース」「女性特有の疾病」「生物多様性」をテーマにした公共ガーデン
- 自治体・企業・NPOの協働事業
- STEM融合：植物科学・気候適応技術



英国王立園芸協会/チェルシーフラワーショー<https://www.rhs.org.uk/shows-events/rhs-chelsea-flower-show>

<https://www.jothompson-garden-design.co.uk/chelsea-2025/>

https://www.independent.co.uk/life-style/chelsea-flower-show-2026-show-gardens-jo-thompson-b2753766.html?utm_source=chatgpt.com

英国： チェルシーフラワーショーにみる「女性参画」による市場の広がり

6

女性の提案を、評価・発信・消費につなぐプラットフォーム

世界への発信

約16万人が毎年来場

新品種、庭園デザイン
、商品を発表する場

女性の参画

2023年は受賞対象デザイナーの58%が女性

小規模庭園では9件中8
件が女性だけのチーム

園芸の幅

女性がデザイン、科学
・研究、栽培、表現へ

自然主義や生物多様性
など、新しい価値を提示

産業の規模



GDPへの貢献
380億ポンド

支える雇用
72.2万人

女性が「つくる・決める・発信する」ことで、専門職、起業、商品、観光の市場が広がる → どう可視化？政策化？

例えば 花と緑を新しい産業として考える

7

女性の参画から、グリーン分野の仕事・起業・市場を広げる

見直したい前提

技術・経営・投資が男性中心ではないか

女性が補助や家族従事に偏っていないか

土地・資金・技術へのアクセス差はないか

ジェンダーの視点

女性がSTEM・研究開発へ

経営と商品開発の意思決定へ

資金・設備・ネットワークへ

女性の生活者視点を設計へ（
花や緑で、暮らしの困りごと
をどう変えられる？どう豊かに
できる？）

生まれる仕事・起業・市場



女性の技術職・専門職

女性によるグリーン起業

豊岡の自然・食を生かす滞在体験

市外・海外に届く豊岡ブランド

問い 豊岡の自然・食の魅力を生かし、市外・海外から人を呼ぶどんな体験や市場をつくれるでしょうか？

例えば 演劇・エンタメから新しい市場をつくる

8

女性の参画から、文化産業の仕事・起業・観客市場を広げる

見直したい前提

演出・技術・経営が男性中心ではないか

夜間・長時間の慣行が参画を阻んでいないか

女性が出演や補助に偏っていないか

ジェンダーの視点

女性が企画・演出・技術へ経営と予算の意思決定へ

ケアと両立できる制作環境

女性の経験を表現と企画へ

生まれる仕事・起業・市場



女性の技術職・プロデューサー

女性による文化起業

演劇・温泉・食を組み合わせた滞在体験

海外にも届く豊岡ブランド

問い 演劇のまちとしての強みを生かし、市外・海外から人を呼ぶどんな体験や市場をつくれるでしょうか？

例えば 観光・交流から新しい仕事と体験をつくる

9

女性の参画から、観光の仕事・起業・訪れる人の市場を広げる

見直したい前提

企画・経営・発信が男性中心ではないか

働く人・訪れる人の声が活かされているか

移動や時間、子ども連れ、介助の必要が参加の壁になっていないか

ジェンダーの視点

女性が企画・経営・意思決定へ

働く人と訪れる人、双方の安心と使いやすさを考える

多文化・多世代の視点を観光体験へ

地域で暮らす女性の発想を商品へ

生まれる仕事・起業・市場



女性のガイド・企画職・経営者

女性や地域住民による観光起業

誰もが参加しやすい体験商品

滞在・交流が広がる豊岡ブランド

問い 女性がつくり、決め、起業できる観光は、どんな仕事や体験を生むのでしょうか？

例えば 健康・ケアから新しい仕事とサービスをつくる

10

ジェンダーの視点から、健康と暮らしの見えにくいニーズを見つける

見直したい前提

健康や食のサービスは、誰を「標準」にしているか

更年期や月経など、性別や年代による健康課題を見落としていないか

男性介護者など、少数に見える人の困りごとが届いているか

ジェンダーの視点

性差や年代で異なる
健康・食・運動のニーズを考える

ケアをする人・受ける人への
性別による思い込みを見直す

当事者の声を企画と意思決定へ

生まれる仕事・市場



更年期・メンタルヘルスの相談や予防

性差を踏まえた食・運動・健康サービス

例：女性やDEIをテーマにした研修・リトリート

市外・海外から人を呼ぶウェルビーイング産業

問い 豊岡の食・温泉・自然を生かし、市外・海外から人を呼ぶどんなウェルビーイング体験をつくれるのでしょうか？